

仙人通信 153 倉岳山(990 m)・高畑山(981 m)

倉岳山・高畑山は、桂川と秋山川に挟まれた大山亜層群の山で、中央線の鳥沢と柳川駅の南側に位置する山である。又、両山合わせて秀麗富岳 12 景9番であり、倉岳山は山梨 100 名山としても有名で、訪れる人の多い山だそうである。

登山者の少ないと言われる浜沢地区に車を置き、倉岳山→高畑山→雛鶴峠を廻る事にした。手持の地図には浜沢地区にPのマークがある事から、近在の方に場所を尋ねると県道の横の広場に止めてよいとの許可が得られた。また案内板に矢平山登山口とあるも地図に山名の記載が無い事から尋ねると立野峠なら、橋の先の神社の横がコースと教えられ、従った。神社に向かい 100 m程進むと立野峠を指す道標だ。小さな瀬に沿って 10 分程更に進むと、踏跡も無くなり、やっと崖の上にピンクのリボンを見つけ、檜林の中へ・・・。

檜の間伐材や枯葉・枯れ枝が堆積し、踏み跡は確認できないも、30 m間隔位に付けられたピンクのリボンを目当てに進む。最初のリボンから 40 分程で小さなピークがあり、尾根コースとなるも再度檜林の登りが続く。20 分登ると細野山(838 m)の標識のある山頂で、道幅も 1 m程の尾根コースだ。北側は檜林・南側は水檜等の落葉樹林となり、15 分程で立野峠である。立野峠には、浜沢へ下山するコースが示されており、コースを間違え細野山を迂回してしまったのだ。この先は、梢越ではあるが富士山が望める。小さなピークを2つ越えて、40 分程で倉岳山の山頂に辿りついた。眼前には、今倉山・26 夜山や御正体山・杓子岳等の 12 単の山を従えた真っ白な富士山だ(桂川の両側にある山並みを 12 単に見立てて、秀麗富岳 12 景だそう)。丹沢の蛭が岳、そして北側手前に扇山・百蔵山・権現山が、後方に三頭山や生藤山が、遠くには雲取山や飛龍だ。休憩後富士山を梢越に眺めながら急勾配を 20 分程下ると穴路峠で、天神山を経て 35 分で第二の目的地である三等三角点の高畑山だ。富士山方向は開け眺めがよいが、他は梢越である。近くには滝子山・三つ峠・雁摺り山が、遠くには白い甲斐駒から塩見等も望める。山頂から 100 m程戻り雛鶴峠方面へ向かう。今度は右手にゴルフ場と富士山を眺めながらだ。スタート時と同様、訪れる人が少ないため、踏跡は、水檜の落葉に埋もれピンクの目印のみが頼りだ。30 分程で大タビ山(901 m)・15 分程で高岩・更に 15 分程で雛鶴峠である。ここからは、高圧線の見廻り道でもあり、安心だが、残雪のコースとなる。10 分程で旧雛鶴トンネルに降り立ち、旧道を 20 分程で新道に出る。この県道沿いには、雛鶴姫を祀る祠や墓地がある。雛鶴姫とは、建武2年に大塔宮が鎌倉で最後を遂げた折に、身ごもった従姫の身で京に身を潜めるため、この秋山に差掛った際に俘虜の死を遂げ、この地に祀られたと碑文にある。この時期手向ける花こそ無かったが、歴史の勉強もさせていただいた5時間 30 分(23000 歩)の山旅でした。(h 29.2. 21)

倉岳山からの富士山



高畑山山頂



雛鶴峠

